市内の経済状況について（参考資料）

追加資料③

■中小企業振興資金　岩国市制度融資の状況

	件数	融資額（千円）	備考
令和５年度	171	781,000	うち設備投資　６７件 コロナ融資返済軽減借換資金メニュー新設により減 （県制度　５年１月～６年６月終了）
令和６年度	233	1,274,200	うち設備投資　７４件
令和７年度	206	1,220,720	うち設備投資　６２件

■企業倒産の状況

	山口県（件）	岩国市（件）	業種	理由
令和５年	72	3	卸売業２件 その他サービス業１件	運転資金の欠乏
令和６年	70	3	建設業２件 運輸業１件	事業上の失敗、既往のシワ寄せ、販売不振
令和７年	54	4	建設業２件、専門サービス業１件、 医療福祉事業１件	販売（売上）不振
令和8年(6月末時点)	29	1	建設業1件	販売不振

（負債総額1,000万円以上　㈱東京商工リサーチ）

■市内企業の価格転嫁の状況

回答	件数	割合
価格転嫁できている	36	28.3%
一部出来ている	75	59.1%
できていない	16	12.6%

（令和7年度訪問企業の回答）

岩国市内中小企業経営動向調査

岩国商工会議所　市内経営動向調査　8年1～3月期調査結果
対象企業数　380社（回収数183社）

【経営上の問題点】

当面する経営上の問題点としては、全産業の上位（１位～３位）に『**人材の確保・育成**』『**人件費・諸経費の増加**』『**売上高・仕事量の不安定**』があげられています。

全業種において、〝**人材の確保・育成**〟の問題度が高まっています。最低賃金の引き上げや、初任給の高騰など、人件費の増加も遠因として考えられます。一方で〝**売上高・仕事量の不安定**〟は、変わらず課題ではあるものの、数字はある程度落ち着きを見せており、業務全体としては改善しているように見えます。

（複数回答：%）

	第１位	第２位	第３位
全産業	人材の確保・育成 (67.0%)	人件費・諸経費の増加 (52.3%)	売上高・仕事量の不安定 (50.0%)
建設業	人材の確保・育成 (76.4%)	売上高・仕事量の不安定 (61.8%)	人件費・諸経費の増加 (45.5%)
製造業	人材の確保・育成 (68.0%)	売上高・仕事量の不安定 (52.0%)	人件費・諸経費の増加 (52.0%)
卸売業	人材の確保・育成 (84.6%)	人件費・諸経費の増加 (61.5%)	売上高・仕事量の不安定 (53.8%)
小売業	人件費・諸経費の増加 (50.0%)	売上高・仕事量の不安定 (50.0%)	人材の確保・育成 (37.5%)
運輸業	人材の確保・育成 (93.8%)	人件費・諸経費の増加 (68.8%)	売上高・仕事量の不安定 (43.8%)
サービス業	人材の確保・育成 (66.7%)	人件費・諸経費の増加 (55.6%)	売上高・仕事量の不安定 (40.7%)